

地震から命を守るために (P. 10~P. 13)

ねらい

地震の揺れによる被害から命を守るための備えと行動について理解させる。

展開例

(防災訓練の事前・事後指導)

学習活動	指導上の留意点
1 導入 県内で被害が予想されている地震について知る。	・ 今後、地震による被害が出る可能性があること、特に津波による被害も予想される南海地震は、高い確率で発生が予想されていることから、地震への備えと適切な行動を身につける必要があることを理解させる。
2 展開 地震から命を守るための備えと行動について考える。 ①地震発生時の判断と行動について考える。 ②家庭ですべき地震への備えについて話し合う。 ③国や地方公共団体の取組について考える。	・ 身のまわりで起きる危険とそれを回避する行動、緊急地震速報の活用について理解させる。 ・ 家屋の倒壊や家具の転倒が被害の主な原因であることをおさえ (P. 13 直接死者数の割合を参照)、家具の転倒防止の方法について理解させ、実践につなげる。 ・ 「生活用品が凶器になる」を参考に、マンション等、高層階における地震時の危険について理解させる。 ・ 建物の耐震化の効果と耐震化を促進する地方公共団体等の取組について理解させる。
3 まとめ 地震から命を守るための備えについてまとめる。	・ いつ起こるかわからない地震から命を守るためには、日頃からの備えと地震発生時の適切な行動が重要であることを理解させ、自分ができる備えについて考えさせる。

教科との関連

理科 (第2分野) (2) ア (イ) 地震の伝わり方と地球内部の動き
地震の体験や記録を基に、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付くとともに、地震の原因を地球内部の働きと関連付けてとらえ、地震に伴う土地の変化の様子を理解すること。

参 考

- ・ 総務省消防庁「地震による家具の転倒を防ぐには」
<http://www.fdma.go.jp/html/life/kagul.html>
- ・ 気象庁「緊急地震速報を見聞きしたときには」
<http://www.seisvol.kishou.jp/sq/EEW/kaisetsu/knowledge/index.html>
- ・ 「地震の歴史」 P. 22-23